

院首『紡ぎ人』のささやき45号南無妙法蓮華經のころ



令和4年12月5日

令和4年師走に当たり感謝のご挨拶

【光陰矢の如し】月日の経過は年齢を重ねるほど弓矢のように早く過ぎ去っていきます。本年も師走となり何かと気忙しい日々が過ぎていきます。特に後期高齢者となり何かと自覚が必要です。皆様方には、本年1年間どのような1年間でいられましたか？

コロナ感染も落ち着いてきたかと思いきや、また、10月下旬より感染増加になってしまいました。一時は、かなりの方々が、元通りの生活に憧れて各種の企画を企てましたが、計画倒れになってしまった方も多いのではないでしょうか。

拙僧も、昨年遷化された宮城県の白石市妙見寺住職風間上人のお悔みに池上学寮の同期僧侶と共に参上いたす予定でしたが、余りの感染増加により急遽来年に延期になってしまいました。

当山では、本年1年間に、大きな出来事がありました。仏祖三宝 諸天善神 妙見大菩薩 檀信徒のお陰です。1つには、下記写真の如く、予て気になっていた親様の墓地の洗浄が出来ました。

2つには、新幹線脇本トンネル工事の爆破による水源減少の保証が決定したことです。

3つには、孫の正康が、僧侶となる第一歩の得度を決意してくれたことです。



劣化と強力な洗浄機により発生した、石と石の隙間にモルタルセメントを盛り込み最終工程作業を行いました。

見事に夢が実現完了



親様の心の教え

感謝は人生を幸せに導き、不満は人生を不幸に導きます

第4回目の車座は、12月6日【火】午前9時半から行います。

今回は、福井市本法寺先々住職、藤田日恵上人の親様の教えと、小浜の枝垂れ桜で有名な妙裕寺先々住職の大平是孝上人が記された親様のお話、故江守清喜翁の入信の動機から信仰心に導かれたお話を、また時間があればその他の方々の信仰心のお話をさせていただきます。

本年は、4回にわたって信仰道場として、『親様の心の教え』を開催させていただきました。総参加者は82名となり、それぞれに何かを感じ、信仰増進の糧となられたことと思っています。



○ 福井市本法寺先々住職藤田日恵上人

親さまが福井市の信者さまに教化に來られた時、本法寺の住職は日蓮宗大荒行を成満され、それこそ読経は沢山に読誦されておられているが、『お経は、ただ読むだけでは要はなされない。心構えと、心に通う真の籠って唱えることが肝心要と』知らされた。



○ 小浜市妙裕寺先々住職の大平是孝上人

親様の噂を聞いて伺うと、『一心不乱にお題目の信心に励む時、願う事が求めずして自然に成就するから我欲を捨てて、只一心に仏さまにすがりなさい』と諭されました。

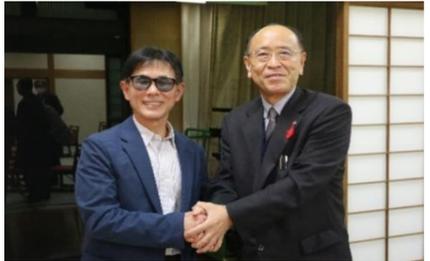


○ 故江守清喜翁の入信の動機

親様からのお題目の心の教えを忠実にお受けいたしました。修行中に『さとり』に近いものを感じ、心が一変に明るくなってきて、『ああこれが御仏のころか』と飛び上がるばかりありがたく感じたことがしばしばありました。

経過報告

11月7日睦会で「いさかひろゆき氏の歌謡ショー」を聞いた後、岩倉町長さんから握手を求められました。



雨あがりの空 その他を歌いました

11月7日より14日まで6回にわたって地元の日野ケアハウスの方々が車椅子等にて秋の町内巡回の度に、当山に参拝に來られました。エレベーターのお陰で本堂まで 感謝



皆さんに幸運のひょうたんを抱いてもらいました

11月22日【火】

六地藏さんも毛糸の帽子にマフラー



一宮の伊藤さんのご厚意により温かく私達のこの冬を見守ってください

12月31日 大晦日除夜の鐘初参り 福引沢山準備

